

弘経寺だより

東日本大震災復興支援

チャリティーコンサート

四月二十九日、松堂久美恵さん森亮子さんによる歌とピアノのコンサートが弘経寺本堂にて開催されました。

森さんの即興演奏が流れる中、松堂さんが絵本の朗読をされ、和やかな雰囲気の中に、コンサートが始まりました。演奏された全曲が日本の歌曲で、

一〇一人の参加者が美しい歌声を堪能したり、共に声を合わせて歌ったりしました。集まりました義捐金は二十二万円。全額を五月九日に常総市長へ手渡し、日本赤十字茨城支部へと



ご寄附くださいますようお願いしました。
松堂さん
森さん、ご
参拝くださ
った皆様、
そしてコン

発所
寿亀山弘経寺
〒303-0041
常総市豊岡町甲1
Tel.0297-24-0895

サートをお手伝いくださった皆様の被災地への祈りがコンサートを成功へと導いてくださいました。心より感謝申し上げます。

開山忌

四月十六日、開山忌が奉修されました。大本山増上寺執事長蓮池光洋上人お導師のもと、内田義之上人、山崎東海上人、伊藤一成上人、近藤叡淳上人（以上、増上寺内）にお勤めいただきました。

また水海道部内より法性寺様、安養寺様、極楽寺様、三福寺様、願海寺様、正専寺様、西光寺様、大楽寺様、報国寺様、法蔵寺様、廣大寺様、靈仙寺様、取手弘経寺様にご随喜を賜りました。

三月十一日に発生した東日本大震災物故者諸精霊のご回向として、法然上人八百年御忌、開山上人のご回向のため、僧侶と参列のお檀家全員でお念仏をお称えしました。

開山忌もちつき

四月十三日、開山忌のための餅つきをしました。餅つきをお手伝いくださいましたのは、

飯田いねさん、飯田洋子さん、石塚敏正さん、石塚規子さん、海老原正美さん、海老原泰治さん、小島定子さん、古谷明美さん、古谷さと子さん、古谷さん、古谷礼子さん（以上、五十音順）です。

今年も沢山のお餅を作って、開山忌にお供えしました。

震災日誌（二）

「いつまたM8クラスの大きな余震が来るかわからない。」

「いつ福島第一原発の放射能汚染が止まるかわからない。」

「いつまた私たちの平穏な日常が奪われてもおかしくない。」

「二〇一一年三月十一日を境に、当たり前のことが当たり前でなくなりました。」

「震災後をどう生きて行くべきか。」
こんなことを考えながら、私はしかめつつらをして歩いていた。

ふと反対側の歩道に目をやると、可愛らしい女の子がスキップをしてい

た。

雨上がりの初夏の午後。とても気分がいいので、スキップになっちゃおう。それだけのこと。それだけでいい。

スキップをするように生きる。そんな風に生きられたらいい。

震災お見舞金を頂戴しました

● 甲斐史子様 一〇〇〇〇円

東日本大震災義捐金報告

左記の通り、義捐金を日本赤十字茨城支部に寄付いたしました。

● 写経会（三月と四月の会費）

三七、五〇〇円

● 募金箱（三月十二日～五月八日）

一六、二九六円

六月の写経会

六月二十五日（土）

付	話	経
1:45	受	法
2:00	法	写
2:20	写	お念仏
2:50	お念仏	懇談
3:10	懇	

会費 一〇〇〇円（高校生以下は五〇〇円）

※ 写経会の会費は、東日本大震災義捐金として、赤十字に寄付させていただきます。

携行品 小筆（受付でも販売します）